

「米」の歴史

Sandra Lopez-Richter

Crestwood Middle School
Florida, U.S.A.



学習者年齢： 12～13才
日本語レベル： 初級
文化面の目的： 日本人の生活における「米」の重要性を学ぶ
食事のマナーを学ぶ
学習する日本語： 「米」という漢字を書く
米に関連する語句
“いただきます、ごちそうさま”

学習目標

日本人の生活において「米」が重要な役割を担っていることを学習する。「米」の歴史や種類を学ぶことにより、生徒たちの日本の食事や文化に対するステレオタイプをなくしていく。また、アジアの国々が、共通する食品を使いながらも、それぞれに特徴のある食文化を持っていることを認識する。

授業の進め方

< 事前学習 >

はしの使い方を練習する。

< 用意する物 >

- ・ はし (生徒の人数分)
- ・ ごはん (日本の米)
- ・ ご飯茶碗
- ・ ふりかけ
- ・ 漬け物
- ・ お茶
- ・ 湯飲み (コップ)
- ・ 説明または練習用のハンドアウト

< 進行方法 >

1. 日本における「米」の歴史的重要性を学び、日本と米国の米の違いを比較する。日本の米は炊くと粘着

性があるので、おはしで食べたり、おにぎりにすることができることなどを学ぶ。

2. 「米」という漢字を練習する。
3. 日本の「米」には、ごはん、ライス、めし、などのさまざまな言い方や種類があることを学ぶ。
4. 3で習ったことをもとに、クイズに答える。
5. お餅について、正月との関係や食べ方などを学び、話し合う。
6. 日本のごはんの食べ方やテーブルマナーを学ぶ。
7. 実際にごはんを食べ、学習したことを練習する。

生徒の意見・反応

(「」内は生徒の言葉)
・ 教師が日本に対して抱いている愛情や尊敬の思いを知ることにより、熱心に学習するようになる。
・ 実際におはしを使ってご飯を食べるアクティビティを楽しんだ。
・ 「中国と日本の食べ物は違うことがわかった。両方とも好きだ」

外国語学習と文化理解

日本文化は、日本語学習のかなめである。文法や言語的な要素だけで

日本語を使うのは、リンゴの入っていないアップルパイを焼くようなものだ。私の経験からも、日本文化をほとんど取り入れない日本語教師は、日本語教育においても成功しているとは言えない。

南フロリダでは、若者の大半が日本のことをほとんど知らない。私は授業の初日に、真っ白な紙に日本の地図を描くアクティビティをするが、12～13歳の生徒のほとんどは、残念ながら日本の地図を描くことができない。日本の地図を見せて、他のアジアの国々のある場所を示すと、生徒たちは中国、韓国、インドの影響がなぜ日本に及んだのかを理解する。

アジアの国々の影響を受けながらも、どの国もがそうであるように、日本には日本の独自性がある。だからこそ面白いのだということを知る必要がある。漢字を学習するとき、漢字は中国から渡ってきたものだが、日本人がそこから独自の文字としてひらがなやカタカナを作り上げたことがわかる。この年齢の子どもたちにとって、それはとても興味深いことなのだ。